

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 クレオ

コード番号 9698 URL <http://www.creo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 森太郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理室長 (氏名) 雨田 高志

TEL 03-5769-3640

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	8,000	12.6	127	△56.1	131	△55.8	49	△86.8
24年3月期第3四半期	7,108	4.5	290	—	297	—	374	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 51百万円 (△86.3%) 24年3月期第3四半期 375百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	5.62	—
24年3月期第3四半期	42.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	6,472	4,311	66.1
24年3月期	6,512	4,325	66.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,281百万円 24年3月期 4,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	10,000	1.5	400	9.2	350	△13.4
	～10,500	～6.5	～500	～36.6	～400	～△1.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	9,237,319 株	24年3月期	9,237,319 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	490,409 株	24年3月期	377,462 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	8,832,653 株	24年3月期3Q	8,862,381 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当面は弱さが残るものの、輸出環境の改善や経済対策の効果などを背景に、再び景気回復へ向かうことが期待される中、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクが依然として残り、厳しい状況が続きました。

当業界におきましても、顧客の情報化投資の縮小、延期等、設備投資を抑制する動きに下げ止まりは見えるものの、受注環境の大幅な改善は厳しい状況下にあります。

このような状況の中、当社グループは平成23年4月1日付の当社持株会社化および会社分割により、事業ごとの責任と権限の明確化、スピード経営・自主独立経営の徹底、各業種・業態に最適な経営体制の確立、変化に対応出来る柔軟な経営体制の確立を実現し、より強固な経営基盤の確立並びに成長促進を目指しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における、当社グループの状況は、売上は堅調に伸びたものの、利益に関してはクレオマーケティング事業における、利益損失の拡大が影響し、前年同四半期より大幅に減少しております。

以上の結果、売上高は、80億円（前年同四半期比12.6%増）、営業利益は、1億27百万円（前年同四半期比56.1%減）、経常利益は、1億31百万円（前年同四半期比55.8%減）、四半期純利益は、49百万円（前年同四半期比86.8%減）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

- ・クレオマーケティング事業（主たる事業：基幹系・情報系業務ソリューションから、組み込み系ソフトウェアまで、トータルICTソリューションの開発・提供）

「人事給与」「会計」「人材開発」「就業管理」製品を中心に事業を展開し、売上は増加しましたが、上期に発生した不採算プロジェクトでの損失が拡大し、前年同四半期より大幅な利益減少となりました。

その結果、売上高は17億92百万円（前年同四半期比13.5%増）、営業損失2億4百万円（前年同四半期は営業利益69百万円）となりました。

- ・クレオソリューション事業（主たる事業：システムやネットワークの構築から、各種業務アプリケーションの開発）

厳しい市況環境の中、引き続き既存顧客との関係強化ならびトラブルプロジェクト防止を徹底した結果、前年同四半期より売上・利益ともに増加となりました。

その結果、売上高は23億20百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業利益98百万円（前年同四半期27.0%増）となりました。

- ・筆まめ事業（主たる事業：はがき・住所録ソフト「筆まめ」をはじめとしたソフトウェア製品の企画・開発・販売）

平成24年9月に発売した毛筆ソフト「筆まめVer. 23」の販売本数シェアは前期に比べ拡大したものの、市場縮小の影響により、売上・利益ともに前年同四半期を下回りました。

その結果、売上高は10億63百万円（前年同四半期比8.2%減）、営業利益1億83百万円（前年同四半期比11.1%減）となりました。

- ・クレオネットワークス事業（主たる事業：ICT基盤サービスプラットフォームとWebToPrintプラットフォームの提供）

平成23年8月に発表したビジネス基盤サービス「SmartStage」を中心としたサービス展開が堅調に進み、売上・利益共に前年同四半期を上回りました。

その結果、売上高は4億4百万円（前年同四半期比15.6%増）、営業利益16百万円（前年同四半期は営業損失41百万円）となりました。

- ・クリエイトラボ事業（主たる事業：ヘルプデスクを中心としたサポート&サービス）

厳しい市況環境に適応するべく、企業規模拡大、新規顧客開拓、技術社員増員を達成する為に平成24年4月に株式会社アイティアイを子会社化、ならびに商談数増加と受注確度向上に努めた結果、前年同四半期に比べ売上は大幅に増加、利益は微減となりました。

その結果、売上高は24億19百万円（前年同四半期比34.1%増）、営業利益68百万円（前年同四半期比5.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億59百万円の減少となりました。

これは主として現金及び預金の減少によるものです。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億18百万円の増加となりました。

これは主として無形固定資産の増加によるものであります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、27百万円の減少となりました。

これは主として賞与引当金の減少によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、13百万円の減少となりました。

これは主として自己株式の増加によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想に関しましては、平成24年5月11日付け「平成24年3月期決算短信」において公表いたしました数値より変更はございません。

連結業績予想には、リスクや不確実性を含んでおり、そのための様々な要因の変更により、大きく異なる結果になる可能性があります。通期の連結会計期間においては、以下のようなリスクがあります。

(1) クレオマーケティング事業については、新規顧客の獲得の遅れが生じた場合、あるいは通期の連結会計年度に予定しているライセンス販売等の検収が来期にずれ込む場合には、予想と実績が大きく乖離する可能性があります。

(2) クレオソリューション事業については、事業の性質上通期の連結会計年度末に検収が集中しており、検収の進捗により売上計上時期が来期にずれ込む可能性があります。また、今後の開発状況によっては不採算プロジェクトが顕在化する可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当社の連結子会社である株式会社クリエイトラボは、平成24年4月に株式会社アイティアイの株式を取得し、連結子会社としております。詳細につきましては、平成24年2月20日に公表いたしました「株式会社アイティアイ社の孫会社化に関するお知らせ」をご参照ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,566	2,874
受取手形及び売掛金	1,734	1,862
商品及び製品	35	34
仕掛品	253	494
その他	181	243
貸倒引当金	△2	—
流動資産合計	5,769	5,509
固定資産		
有形固定資産	199	181
無形固定資産		
のれん	—	6
その他	331	564
無形固定資産合計	331	571
投資その他の資産	212	209
固定資産合計	743	962
資産合計	6,512	6,472
負債の部		
流動負債		
買掛金	336	440
短期借入金	5	—
未払法人税等	135	49
賞与引当金	500	225
役員賞与引当金	20	—
返品調整引当金	69	252
その他	1,015	1,089
流動負債合計	2,084	2,057
固定負債		
退職給付引当金	1	—
未払役員退職慰労金	33	28
資産除去債務	51	52
その他	16	22
固定負債合計	102	103
負債合計	2,187	2,160

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,149	3,149
資本剰余金	743	743
利益剰余金	531	536
自己株式	△123	△148
株主資本合計	4,300	4,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	△0
その他の包括利益累計額合計	0	△0
少数株主持分	24	30
純資産合計	4,325	4,311
負債純資産合計	6,512	6,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	7,108	8,000
売上原価	5,163	6,184
売上総利益	1,944	1,816
販売費及び一般管理費	1,654	1,688
営業利益	290	127
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取保険金	3	2
その他	6	3
営業外収益合計	10	6
営業外費用		
支払利息	1	0
その他	2	2
営業外費用合計	3	2
経常利益	297	131
特別利益		
移転補償金	318	—
その他	9	—
特別利益合計	327	—
特別損失		
固定資産除却損	25	—
事務所移転費用	40	—
ソフトウェア臨時償却費	40	—
その他	18	—
特別損失合計	124	—
税金等調整前四半期純利益	499	131
法人税、住民税及び事業税	111	66
法人税等調整額	12	12
法人税等合計	123	79
少数株主損益調整前四半期純利益	375	51
少数株主利益	0	2
四半期純利益	374	49

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	375	51
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
その他の包括利益合計	△0	0
四半期包括利益	375	51
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	374	49
少数株主に係る四半期包括利益	0	2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年8月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定に読み替えて適用される、同法第156条の規定に基づく自己株式の取得に係る事項について決議し、平成24年8月から平成24年12月までに大阪証券取引所のジャスダック市場における取引により、普通株式111,000株、取得総額24百万円の自己株式を取得しております。

この自己株式の取得等により、当第3四半期連結会計期間末における自己株式が148百万円になりました。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	クレオ マーケティング 事業	クレオ ソリューション 事業	筆まめ 事業	クレオ ネットワークス 事業	クリエイトラボ 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	1,579	2,215	1,158	349	1,804	7,108
セグメント間の内部売上高 又は振替高	130	10	0	146	377	665
計	1,710	2,225	1,159	496	2,182	7,774
セグメント利益又は損失(△)	69	77	206	△41	72	384

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	384
セグメント間取引消去	△91
全社費用及び利益（注）	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	290

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や経営指導料収入等であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	クレオ マーケティング 事業	クレオ ソリューション 事業	筆まめ 事業	クレオ ネットワークス 事業	クリエイトラボ 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	1,792	2,320	1,063	404	2,419	8,000
セグメント間の内部売上高 又は振替高	101	18	0	129	402	652
計	1,893	2,338	1,063	534	2,822	8,653
セグメント利益又は損失(△)	△204	98	183	16	68	162

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	162
セグメント間取引消去	△71
全社費用及び利益（注）	36
四半期連結損益計算書の営業利益	127

（注）全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や経営指導料収入等であります。